

平成30年度川西小学校自己評価シート

○ 評価基準 A・・・達成できた B・・・おおむね達成できた C・・・やや達成できなかった D・・・達成できなかった

学校教育目標	めざす子どもの姿(中期的目標)	総合評価						
自ら考え ともに高め合い かがやく子	①自らねばり強く考え、課題を解決しようとする子(知) ②進んで体を鍛え、明るく、元気よく活動する子(体) ③笑顔であいさつをし、友だちを大切に助け合える子(情) ④自分から進んで物事に取り組む子(意)	①築山、プレイコート等、遊び場がしっかり整い、体を動かして遊ぶ子が多い。 ②個人差はあるが、学習課題に対して粘り強く取り組める子が増えてきている。 ③挨拶が気持ちよくできる子が多い。自分から、だれにも、来校者という点では個人差がある。 ④6年生を中心に委員・係活動など進んで取り組んでいる姿がある。						
	今年度の重点目標		成果と課題				改善策・向上策	
	①	(か) からだをきたえ 元気よく 毎日をすごそう	朝の学級活動でみんなで体を動かせるのがいい。担任も休み時間に一緒に遊んだ。休み時間に校庭やプレイコートで元気に遊ぶ姿がたくさん見られた。	A	B	C	D	運動の意識づけと意欲づけを工夫して行いたい。
	②	(わ) わかるまで ねばりづよく 考えよう	授業を大切に考えている姿がある。家庭学習をやってこない子が多い。 粘りよく取り組む姿が多くなるようになった。		○			できないことを自覚させ、努力して解決させ、できたときの気持ち良さを感じさせたい。スモールステップで取り組み、「できた」「わかった」という体験を積み重ねる。
	③	(に) にこにここと あいさつして なかよくなるよう	代表・総務委員が率先して行う姿がよい。知っている友達にはできるが、来客者にはまだできない。個人差が大きい。兄弟姉妹学級以外のクラスにも積極的に依頼して交流した。		○			委員会の活動に挨拶を柱に据える。職員から進んで行う。全校で一定期間なにか具体的な挨拶に関する取り組みを行う。
④	(し) じぶんから 何事も すすんでやろう	自主学習する子が少しずつ出てきた。自分からどんどん動ける子がいる一方で、ついていけずの子もいる。掃除の取り組みがもう一息。		○			「自分のために」だけでなく「みんなのために」「クラスのために」自分ができることを考えさせていく。掃除の仕方や重点を具体的に伝える。	

領域	対象	評価項目	評価の観点	評価方法	成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
		楽しい学校づくり		アイウエオ	楽しい「おもしろい」と思えるしかけを授業で取り入れるようにした。人間関係を見直さなければならぬ場面があった。		○			友だちを見直す学習を定期的に取り組むようにする。友達とのトラブルが起きたときの解決を早くできるようにする。
教育活動	学力向上	①わかる楽しみのある授業作り	「ねらい」「めりはり」「見とどけ」を意識した授業が展開されているか。	アイウ	教材研究に時間をかけた。見届けがどうしても十分な時間が取れない。「ねらい」のきめ出しを意識的に取り組んだ。発問と板書を工夫できた。		○			子どもへの「問い」を吟味する。子どもの意識に沿ったねらいを設定する。 来年度ともにUD化を積み上げ、より良い授業づくりを工夫したい。
		①家庭学習の充実	「紡ぐ」を活用し、自主的、計画的な家庭学習の積み重ねがされているか。	アイウエ	明日の時間割を書くだけになってしまいがち。家で開かない子もいる。個人差が大きかった。		○			「紡ぐ」のやり方について再度周知徹底協力をお願いする。学級通信・懇談会・学年通信等多方面からの呼びかけが必要。自主的な学習の内容の提案を定期的に行う。
		①授業評価による授業改善	教科・単元を抽出し、児童による授業評価を実施し、授業改善に役立っているか。	アイウ	学期末に行った。「わかる」「楽しい」を一元評価したが、必ずしも一致するとはいえない。個のレベル差もある。		○			単元ごとに感想を書く形で評価してもらったりして、子どもの意識を核にした授業改善のための授業評価を今後とも継続していきたい。
	体力向上	②朝の学級活動	児童と共に計画した学級活動がなされ、全身を使って楽しむ活動がなされているか。	アイウ	子ども達は学級の時間をとても楽しみにしている。活動内容を子ども達が決め出して行った。		○			「楽しい学級」「よりよい人間関係作り」を目標にこれからも朝の活動の中で学級活動を位置づけた。
		②全校運動	一校一運動の意識付けと運動の習慣化がなされているか。	アイウ	数年続けているので、子どもの中に根付いている。学級でも目標を決め活動した。		○			一年を通して定期的に大縄大会があるとよい。実態に沿った一校一運動になるとよい。
	情操教育	③人権同和教育	学級の中で児童が自己肯定感を持ち、児童ひとりひとりととの信頼関係を構築することができているか。	アイウ	小さなことでも褒める、周りに広めることを意識して関係づくりを図ってきた。		○			大きないじめや暴力に至る前に、だれにとっても居心地がよい学級、学校の素地を作る。SCや心の教室相談員の活用。
		③福祉教育	福祉施設や兄弟姉妹学級との交流等を通して他者への思いやりの心が育まれているか。	アイウ	定期的に兄弟姉妹学級で遊ぶことができていた。ペア学級と1年を通して交流した。低学年を思いやる気持ちが育った。		○			毎年取り組んでいる福祉施設との交流、ペア学級との交流など計画的に実践し、思いやりの気持ちが育めるようにする。
	自立・主体的・自	④児童会・係活動	子どもの願いを尊重した活動の組み立てがなされているか。	アイウエ	子ども達と共に必要な係を考え、役割分担した。1年間を通して6年生が主体的に取り組んだ。		◎			
④キャリア教育		主体的な学習がなされているか。	アイウエオ	子ども達から出た疑問や願いをくみ取り、学習計画を立てることができた。		○				年間を見通した計画を立てる。外部の方の力もお借りする。
学校運営	地域との連携	コミュニティスクールの充実	学校運営協議会やコーディネーターと連携し、地域の方々との協力・支援を図ることができたか。	アイエオ	「専門家がきてくれた」と学習意欲にもつながった。地域の方に学ぶ機会を大切にできた。多くの方に教育活動を支えていただいた。	○				地域の方にどんな人材がいるか、どんな学習がしたいか、支援の形や内容を職員が把握し、計画しておく。
		PTAの方々との連携	よりよい学習活動・学校環境作りを目指して、PTAの方々との協力で行っているか。	アイエオ	遠足やスケート教室等の行事だけでなく、普段のPTA活動でたくさん手助けしてもらいたい。		○			困っていることを率直にお話しし、総務委員会を核に組織的に動き、連携して行うようにする。
		分かりやすい情報発信	学校、学年、学級の運営方針や様子を、懇談会やお便り、HP等で分かりやすく伝えることができたか。	アイエオ	学級通信を毎日出せたり、不定期になってしまうが児童の様子をお知らせできるように努力した。		◎			懇談会や学級だより、学年通信、学校便り等でできるだけ丁寧な情報発信をしていく。
	研修	授業力の向上	自己課題を持ち日々授業改善をし、授業研究会を通して学ぶことができたか。	アイ	研修できることが多かった。初任研や一人一公開授業を見合ったり、その後の研究会で自らの課題を見つけ、そこから努力した。		◎			それぞれ自己課題を持ち、それを解決、改善していく研修を積み上げていきたい。
	組織	情報の共有・全職員による指導	いじめ・不登校・生徒指導に関わる情報を共有し、同一歩調・チームで指導にあたれているか。	アイ	ちょっとした出来事を話すことで安心できる。聞いてくれる方がいて感謝。クラスの子の対応でたさんの先生方に協力いただいている。 職員会始めの情報共有の時間がありがたい。		◎			今年度のように即日報告、密な連携、組織的な取り組みがされるとよい。

○評価方法 ア教師自身による評価 イ学校長による評価 ウ児童アンケート エ保護者アンケート オ学校運営協議会委員Bの◎はAに近いB評価